

くりまっこ

元気いっぱい 笑顔あふれる 栗真の子



地震を想定した避難訓練を行いました！

9月3日（火）に地震を想定した避難訓練を行いました。具体的には、緊急地震速報システムによる地震予告があったときに、どのように対応したらよいかを学ぶ訓練です。大きな地震がくる前に予告されるので、窓の近くや蛍光灯の真下など、危ないところを避け、安全な場所に移動することができます。心の準備もできます。たった数十秒ですが、自分の身を守るために、安全なところに隠れることができます。

揺れがおさまったら、避難をするようにという放送の合図で、ヘルメットをかぶり、安全なところを通り、運動場の指定の場所まで、避難します。子どもたちは、事前に何度も学んでいる「お・は・し・も」の約束を守って避難しました。今回の避難訓練も、ほとんどの子どもたちが、先生たちの指示に従って、静かに、しかも慌てずに、とても上手に避難することができたと思います。

今回も地域の防災コーディネータの方々に、訓練の様子を見ていただきました。子どもたちが落ち着いて避難しているとの感想を持ち、お褒めの言葉をいただきました。これは、いつも話している2つのことを守っているからだと思います。1つ目が、『先生の話をしっかり聞く』ということです。目と耳と心で、しっかり聞く習慣を身につけておかないと、いざという時に慌ててしまい、大切な話や指示を聞きもらしてしまいます。2つ目は、『落ち着いて行動する』ということです。避難する時、慌てていると、階段でつまずいたり、友だちにぶつかったりして大きな怪我をするかもしれません。子どもたちが落ち着いて避難できるのは、自分の命を守るために、この2つのことを、日頃から心掛けてきたからです。

地震も火事も、いつ、どこで起こるか分かりません。担任の先生がいなくても自分の力で安全に避難して、『自分の命は自分でしっかりと守る』ことができる力を身に付けることは、とても大事なことです。これからも、この2つの約束がしっかりと守れるように、過ごしてほしいと思っています。



南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）について

8月8日の16時43分頃に、日向灘を震源とするマグニチュード7.1の地震が発生しました。今回の地震は、一定の規模を超え、東海から九州の太平洋沖にかけて広がる南海トラフ地震の想定震源域で発生したものであることから、専門家らで構成される気象庁の評価検討会が招集され、この地震と南海トラフ地震との関連性について検討しました。その結果、マグニチュードが7以上と、臨時情報を出す条件を満たしたことから、3段階のうち、事前避難を求める「巨大地震警戒」に次ぐ、「巨大地震注意」が発表されました。これは、南海トラフ地震の想定震源域では、大規模地震の発生可能性が平常時に比べて相対的に高まっていると考えられ、発表後の1週間は巨大地震に対する備えを再確認して生活しなさいというものでした。今回の発表は、気象庁が2017年11月に制度を導入後初の「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」です。発表されてから1か月近く経ちますが、通常的生活を送りながらも、次の地震があった場合の備えを再確認するようにしてください。

校内夏休み作品展を開催しています！

夏休み前の7月16日に保護者宛文書においてお知らせしましたように、9月4日（水）から、校内夏休み作品展を、本校の家庭科室において開催しています。夏休みを利用して創り上げた力作がたくさん見られます。お時間のある方は、ぜひ見に来ていただけたらと思います。なお、開催期間は、11日（水）までです。また、開催時間帯は、14時から18時までです。子どもたちが一生懸命創り上げた作品なので、原則、作品には触れないよう、ご理解とご協力、よろしくお願いいたします。

